

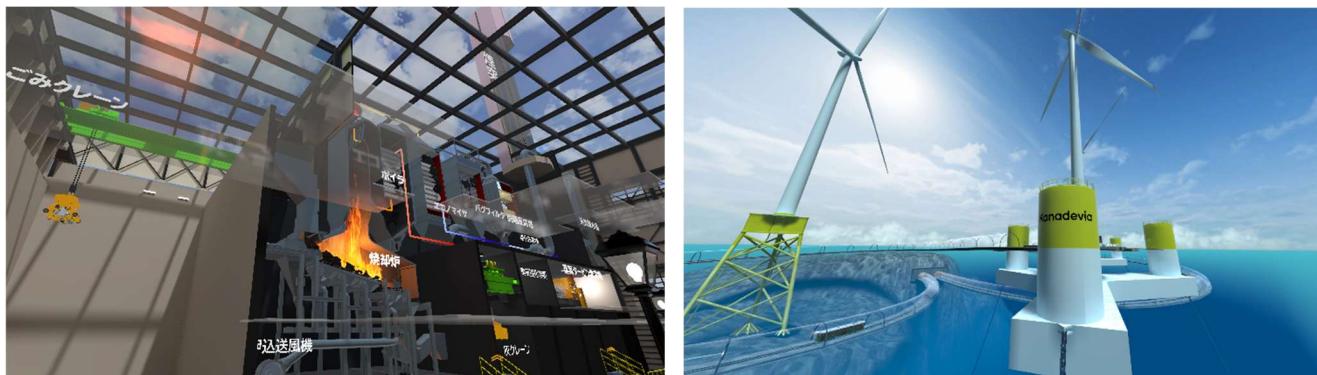
# News Release

**Kanadevia**  
Technology for people and planet

力ナデビア株式会社  
2025年7月25日

## メタバース上の展示「Kanadevia Virtual Museum」を開設 ～多岐にわたる当社の製品・事業を“実物大”で見学可能に～

カナデビア株式会社は、このほど、ごみ焼却発電プラントや風力発電設備などの製品・事業について展示する「Kanadevia Virtual Museum」を、インターネット上の仮想空間「メタバース」に開設しました。Kanadevia Virtual Museum は、クラスター株式会社（東京都品川区、加藤 直人 代表取締役 CEO、以下、クラスター）が運営する国内最大級のメタバースプラットフォーム「cluster」を利用しておおり、普段、なかなか見ることができない洋上風力発電やプラントの内部等を詳しく紹介します。



【メタバース上の展示イメージ】

当社の製品・事業は多岐にわたり、プラントや設備など納入したものは全国および世界各地に散在しているため、なかなか見学に行けない、全ての製品を同じタイミングで見学することが難しい、そもそも現地に行っても水中にあったり安全上の理由等で見られなかったりする部分もありました。また、当社の製品は大型構造物が大部分であり、展示会等に実物を展示することができないため製品のスケール感を説明することができないといった面で苦慮していました。

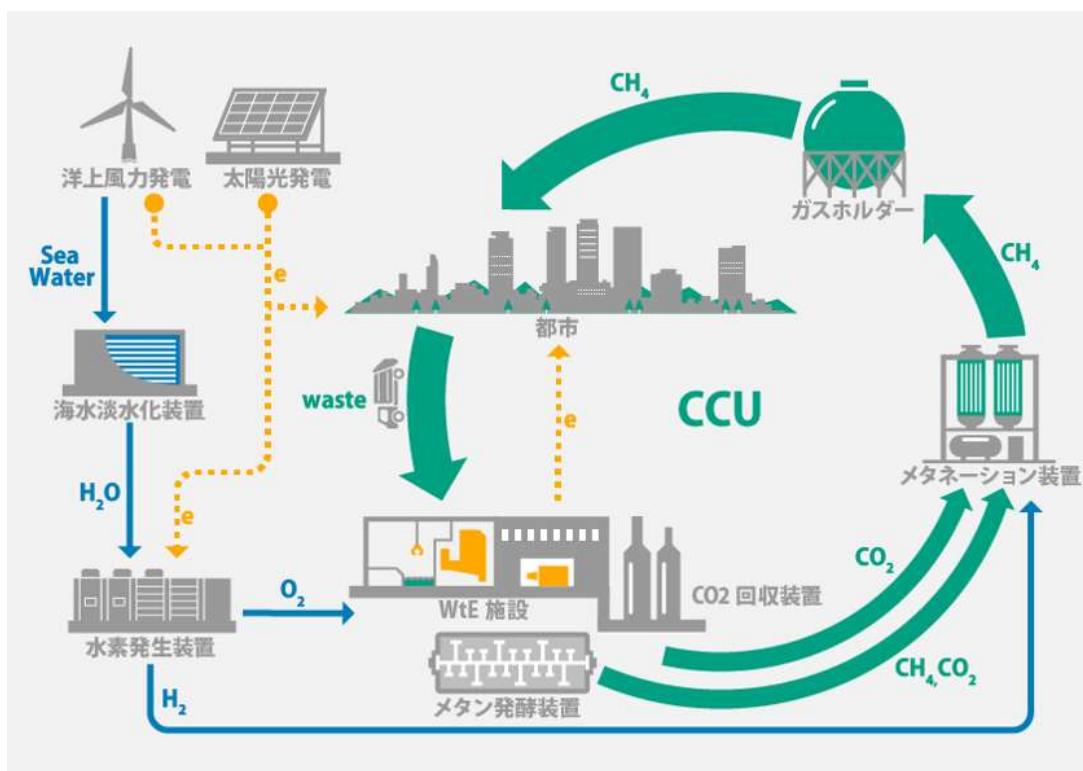
Kanadevia Virtual Museum は、これらの難点をクリアし、当社の製品・事業や取り組みを体系的に知っていただける場になります。現在完成している展示は、当社が昨年参加した国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）で提示した「当社が目指す循環経済とGHG排出ネット・ゼロを可能とする廃棄物処理システム」に関係が深い製品で、「ごみ焼却発電プラント」「メタネーション装置」「水素発生装置」「洋上風力発電設備」などの計5つで、今後順次、追加する計画です。利用者は、メタバース上でいつでも各施設を訪れることができ、ごみ焼却発電プラントのごみピットや炉の断面、海中にある海底設置型フラップゲート式水門など、普段は見学できない製品を“間近”に見ることができます。

Kanadevia Virtual Museum は現在、Kanadevia 先端情報技術センター「A.I./TEC」（当社大阪エイアイテック）

本社に隣接、2018年運用開始)からアクセスでき、パソコンモニターだけでなく、ヘッドマウントディスプレイを配備し、見学者のアバターを内部に送り込むことで、3Dで各展示を“実物大”で体感・見学できます。当面は主に来社された顧客への製品・事業説明等に活用する予定ですが、将来的には当社のHP上に公開し、一般の方々の利用も検討しています。

今回の Kanadevia Virtual Museum の開発にあたっては、2024 年 8 月頃からクラスター社とタイアップし、創業 10 周年を迎えた同社が持つ、メタバース業界トップクラスのクリエイティビティやノウハウを技術面や展示の演出面で提供していただきました。

当社は、「脱炭素化」「資源循環」「安全で豊かな街づくり」の3つの分野を事業領域としており、現在、環境事業、機械事業、社会インフラ事業、脱炭素化事業の4事業本部があります。これらの事業は個別に進めるだけでなく、たとえば、ごみ焼却などで生じる二酸化炭素を水素と合わせてメタンに変え、再びエネルギーとして利用するといった資源循環に寄与できるものであり、そのために必要な水や電気をクリーンに生み出すシステムも持っています。このように体系的・統合的に技術と実績を有していることが当社の強みです。



【当社が目指す循環経済と GHG 排出ネット・ゼロを可能とする廃棄物処理システム】

当社は、メタバースの利点を生かした Kanadevia Virtual Museum を通じて、当社の取り組みを多くの方に理解してもらい、今回の開設を機にメタバースのさらなる活用も模索しながら、一層の当社の認知度向上やブランドイメージの強化につなげてまいります。

(終)